

噴火警戒レベル1の箱根山

2015. 12. 28

神奈川県HPによると、『11月20日 午後2時 気象庁が箱根山（大涌谷周辺）の噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）に引き下げました』とあり、これまでの警戒レベル2（火口周辺規制）から一段階の引き下げです。

しかし、『現在も高い濃度の火山ガスが観測されているため、引き続き、立ち入りの規制が行われています』とされ、火口付近への規制の範囲は『想定火口域（半径440mから530m）の楕円エリアと県道730号（大涌谷小涌谷）大涌谷三叉路から大涌谷周地駐車場までが警戒区域として設定され』この範囲への人の立ち入りが禁止されています。

箱根ロープウェイは、現在「姥子―桃源台駅」間で運行されていますが「大涌谷駅」には入れず、名物の「温泉たまご」は食べられません。早雲山から芦ノ湖畔の桃源台駅まではロープウェイに代わって、「代行バス」が運航され観光客を運んでいます。

大涌谷の噴気の様子が、ここ寺田縄からも観測されることをHP・6月3日「くらし>意外な出来事>噴火警戒レベル2」で紹介しました。

続報として、12月19日 朝7時過ぎの様子をお伝えします。

(1) 7時1分



(2) 7時2分



(3) 7時7分



(4) 7時21分



ライブ配信されている大涌谷の噴気を知る現在の映像には、風に吹かれ山肌を這い上る白い噴気が見て取れます。

寺田縄からは、ご覧のように、朝の陽ざしの紅が薄れゆく移ろいの中、山腹に噴気が確認されます。この日、箱根山は風が弱かったのでしょうか、空中に水蒸気が高く舞い上がっていました。

大自然の営みが観測されるのです。実に感動的です。

ご覧のように、警戒レベルが出され立ち入りが制限されているのは、箱根山のごく一部の地域です。大多数の地域は、警戒区域の外側になっています。

観光資源が中心の箱根です。多くの人たちの訪れることが待たれています。

12月19日 朝6時58分
朝焼けの富士山

